

2022年5月

ヘルスケア・インサイト、イノベーションとインパクト

5月は市場の懸念が「インフレ」から「景気後退」へと移行した模様です。

ヘルスケア銘柄は上昇し、S&P500指数をアウトパフォームしました。

トータルリターンは、2022年5月31日現在  
出所: FactSet、米ドル建てリターン。  
過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

新薬承認やM&Aに関する楽観的な見通しを背景にバイオテクノロジーが上昇しました。

業種別リターンは、2022年5月1日から  
2022年月5月31日のデータ  
出所: FactSet、米ドル建てリターン。過去のパフォーマンス  
は将来の結果を保証するものではありません。

## 市場インサイト

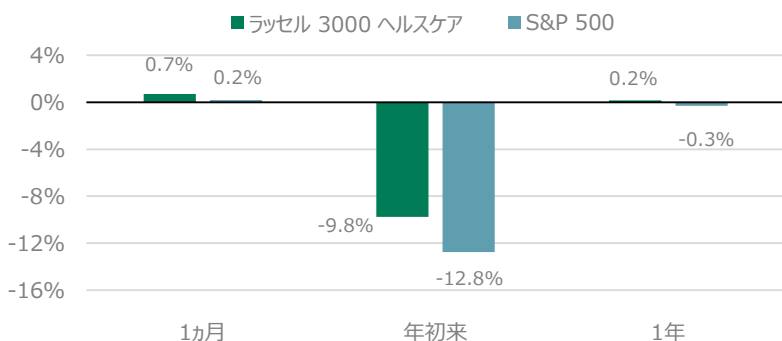
5月の株式市場は再び著しく変動しました。インフレと金利上昇に対する懸念が2022年年初からの市場下落の背景でしたが、5月は、「インフレ」から「景気後退」へと、市場の懸念が移行した模様です。国連経済社会局は、2022年通年の世界経済成長率見通しを4%から3.1%に引き下げました。金利上昇、インフレ、ロシアのウクライナ侵攻に起因する貿易の混乱が経済成長の重圧になっています。また、COVID（新型コロナウイルス感染症）規制措置のため、中国を中心に更なる混乱が発生しています。

市場環境の変化は資産クラス別のパフォーマンスに反映され、長期にわたって低迷していた格付の高い国債が急回復を遂げました。株式市場でも同様に、ディフェンシブ銘柄が持ちこたえた一方、景気敏感セクターは下落しました。S&P500®指数は月中に著しく変動したにもかかわらず、前月比横ばいで月を終えました。

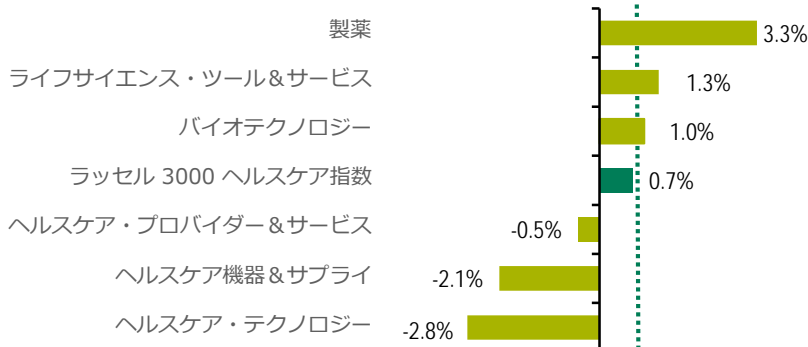
ヘルスケア銘柄は上昇し、S&P500®指数をアウトパフォームしました。投資家が景気減速を懸念するなか、ヘルスケア企業の業績はより耐久性があり、景気後退に強いとみなされました。2021年に市場をアンダーパフォームしたヘルスケア銘柄のバリエーション（投資価値評価）は、引き続き市場全体と比較して魅力があります。ただし、今月も業種によって値動きは大きく異なりました。ディフェンシブな製薬が上昇し、グロース株の多いヘルスケア・テクノロジーやヘルスケア機器&サプライは下落しました。また、新薬承認やM&A（企業の合併・買収）に関する楽観的な見通しを背景にバイオテクノロジーが上昇しました。

## パフォーマンス・スナップショット

### トータルリターン



### 業種別リターン



## 国連の 持続可能な 開発目標 (SDGs)



「健全な生活を確保し、あらゆる世代の健康を促進する」

### インパクト・テーマ



癌を含む疾病の革新的な治療法



医薬品とサービスへのアクセス



医療費削減の新しいソリューション



機器、サービス、ソフトウェアの生産性向上

アメリカンセンチュリーESGトレンド・シグナル\*は次の様に定義されています。  
ポジティブ - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリのパフォーマンスが過去3年間に改善している、または今後改善する見通しがある。  
安定 - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリのパフォーマンスが過去3年間に変化していない。  
ネガティブ - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリのパフォーマンスが過去3年間に悪化している、または今後悪化する見通しがある。  
\*ESGトレンド・シグナルは、発行体の全体的なESG評価と、E、S、Gの個々のカテゴリのパフォーマンスの両方に適用されます。

持続可能な開発目標 (SDGs) は、国連総会によって設定された17のグローバル目標です。業界および政府のリーダーからなるグローバルチームによって開発され、193の加盟国すべてによって採用されました。SDGsには、世界で最も差し迫った問題のいくつかを2030年までに解決することを目指した17の目標と169のターゲットが含まれます。目標には、貧困の撲滅、環境資源への取り組み、ジェンダーと所得の平等の達成が含まれます。

アメリカンセンチュリーインベストメントの運用戦略の大半で、各ポートフォリオマネージャーが採用する投資プロセスにおいてESGを組み入れています。ポートフォリオマネージャーは、ESG (環境・社会・企業統治) 要因を投資戦略に組み込む際に、伝統的な財務分析では捉えることができない、これらの問題を考慮することになります。ポートフォリオマネージャーは、投資対象を選定する際に、ESG要因をポートフォリオの既存の資産クラス、時間ホライズン、投資目的に組み入れることとなります。そのため、ESG要因によりポートフォリオの投資機会が制限される可能性があります。ESG要因を組み込んでいない他のポートフォリオと比較して、パフォーマンスが異なってくる可能性があります。ポートフォリオマネージャーは、ESG問題がポートフォリオの保有銘柄にどのようなインパクトを与えるか、最終判断する権限を持ちます。ポートフォリオマネージャーの分析結果によっては、投資意思決定が、ESGに対する配慮の影響を受けない可能性もあります。

### ヘルスケアへのアクセスに焦点を当てる

WHO (世界保健機関) によると、世界の人口の半分が医療サービスを受けることができません。<sup>1</sup> 第二次世界大戦後、国連は世界人権宣言の中で、ヘルスケアへのアクセスを支援する原則を定めました。<sup>2</sup> 経済的、社会的および文化的権利に関する1966年の国際規約の中で国連は、各国がその居住者に対して医療制度、食料、きれいな空気と水、住宅へのアクセスを保証しなければならないと述べ、その立場を明確にしました。

この宣言は、人々の健康がいかに環境と社会的条件に左右されるか、また、医療施設にアクセスできなかったり医療介入に必要なリソースが不足している場合、医療を受ける権利の実現が不十分であることを強調しています。例えば、南アフリカの憲法には「医療サービスへのアクセス」の権利が謳われていますが、質の高い医療を受けられるのは人口の一部に過ぎません。<sup>3</sup>

先進国の間でも医療へのアクセスや質に違いがあります。例えば日本は、世界で最も効果的な医療制度を持ち、他の先進国の数分の一の医療費で世界で最も長い寿命を享受しています。<sup>4</sup> 一方米国は、先進国で唯一、国民皆保険制度を持たず、一人当たりの医療費は他の先進国の2倍、医療サービスは地域によりばらばらです。<sup>5</sup> 米国内でも国外でも、ヘルスケアへのアクセスは所得に左右されます。<sup>6</sup>

良いニュースとしては、政府や非政府組織、企業がケアへのアクセスを拡大するために改善を続けていることが挙げられます。コミュニティへの働きかけ、遠隔医療などのデジタル技術の革新、予防医療への注目の高まり、資金調達方法の変化など、大きな成果が見られます。<sup>7</sup>

### 注目銘柄 : CVSヘルス

CVSヘルスは、薬局給付管理サービス、9,000以上のリテール薬局、リテール・クリニック、オンライン・リテール薬局事業を全米で展開しています。同社は、「アクセスを改善し、コストを下げ、ヘルスケアの全てにおいて信頼できるパートナーとなり、医療システムとパーソナル・ヘルスケアをナビゲートする」ことを支援する使命を掲げています。同社のトランスフォーム・ヘルス2030の目標は、個人を対象に650億回のヘルスケア・コミュニケーションを提供することです。米国の人口の50%以上がCVSミニッツ・クリニック(MinuteClinic®)から10マイル (およそ16km) 以内に住んでおり、従来の救急サービスよりも40%低いコストでより簡単に医療サービスを受けることができます。

より生産的で効率的なサービスの提供、医薬品やサービスへのアクセス向上、医療費削減につながる新しいソリューションの提供など、同社のサービスは社会的インパクトの目標と一致すると私達は考えています。また、私達のESG (環境・社会・企業統治) チームは、同社のESGの質を肯定的に評価しています。

### 出所

<sup>1</sup> 世界保健機関 「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」、アクセス日2022年6月2日

<sup>2</sup> 国連 「世界人権宣言」、アクセス日2022年6月2日

<sup>3</sup> レト・モゴアトル 「2022年までにユニバーサル・ヘルスケアを実施するためには2,560億レアルの費用がかかる」グローバル・シチズン 2019年8月12日

<sup>4</sup> シン・ザン、オヤマ・タツオ 「日本における医療提供体制の調査と地方公立病院改革の見直し」リスク・マネジメント・アンド・ヘルスケア・ポリシー-9号 2016年3月 21-32

<sup>5</sup> エマ・ワグナー、ジャレット・オルタライズ、シンシア・コックス 「米国の医療費を他国と比較すると？」ピーターソン-KFFヘルス・システム・トラッカー 2022年1月21日

<sup>6</sup> デビッド・H ビーターズ、アヌ・ガーグ、ケリー・ブルーム他 「開発途上国における貧困と医療へのアクセス」ニューヨーク科学アカデミー紀要 1136(2008): 161-171

<sup>7</sup> エリザバス・アームストロング・ムーア 「新興国の医療アクセスを改善するにはどうすればよいか？」世界経済フォーラム 2015年11月26日

## 著者



Michael Li, Ph.D.

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びシニア・ポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行なうなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



Kevin Lewis, CFA, CAIA

シニア・クライアント・ポートフォリオ・マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。バージニア・テックでビジネス学士号取得。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

## American Century Investments®

4500 Main Street  
Kansas City, MO 64111

330 Madison Avenue  
New York, NY 10017

1665 Charleston Road  
Mountain View, CA 94043

360E. 2<sup>nd</sup> St.  
Los Angeles, CA 90071

2 Ice House Street  
Hong Kong

12 Henrietta Street  
London, WC2E 8LH

1 Farrer Place  
Sydney, NSW 2000

Taunusanlage 8  
60329 Frankfurt, Germany

# 【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## ■投資信託に係る費用について

2022年6月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.222%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じたかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会